
1 7 <水球陣>静岡県選手権第 1 戦

H26.11.1 対 tokyo21 @浜松市総合水泳場

Tokyo21 1 2 計 3

東大 1 2 計 3

得点者：浪間(2)、谷口(1)

静岡県選手権の初戦は大事な新チーム初戦でもある。ここで勝って今シーズンの戦いに弾みをつけたいところだ。

第 1 ピリオド

ピリオド開始直後、東大は退水のチャンスを得るがパスが繋がらず得点には至らない。その後も浪間のフローティングや山田のカウンターなどでチャンスを作るも無得点のまま試合が進む。先制点は東大。谷口がミドルシュートを冷静に決めて均衡を破る。しかしその後の退水のチャンスを決めきれずに逆にカウンターから失点してしまう。そのままピリオドが終了し勝負は第二ピリオドに持ち越される。

第 2 ピリオド

両者一得点ずつで迎えたこのピリオドも先制したのは東大。キャプテン浪間が二対一のカウンターで得点し、リードを奪う。しかしその直後のディフェンスで得点を許し、試合は再びふりだしに。ピリオド中盤に浪間がフローティングからもう一点奪いこのまま逃げ切りたい東大。ピリオド終盤に与えてしまったペナルティーシュートを正田がセーブし逃げ切れるかというところで痛恨のパスミスからのカウンターを決められ同点に。最後まで勝ち越しゴールを狙うも惜しくも引き分けという結果になった。

両チームともに流れをつかめない時間帯が続く中、再三リードするも自分たちのミスが原因で勝ちきれなかった。リーグトップ通過に向けて次の試合から挽回したい。

(文責 山田直人)

1 8 <水球陣>静岡県選手権第 1 戦

H26.11.1 对小川のチーム @浜松市総合水泳場

東大 2 3 計 5

小川 2 1 計 3

得点者：池亀(2)、梶原(1)、山田(2)

新チーム初勝利がほしい東大。2 ピリオドという短い時間の中で確実にチャンスを決め、全員で守り切りたい。10 月の基礎練習の成果を見せつけたいところだ。

第 1 ピリオド

序盤、梶原からのパスを山田が叩き込み東大が先制かと思われたがオフサイドの判定。しかしその後すぐに山田がキーパーとの一対一を決めて先制する。さらに退水のチャンスで梶原が決めて二点差に。この後もリードを広げたい東大だったが池亀の退水などで 2 失点する。ピリオド終盤に退水のチャンスを得るもパスミスにより得点することはできなかった。

第 2 ピリオド

このピリオドも序盤から東大が攻め続けるも決定力を欠き得点にはつながらない。もどかしい時間帯が続く中、ミドルシュートを決められリードを許す。その後もなかなか点が入らずチーム全体に焦りが生まれる中、池亀が狙い澄ましたループシュートを決めてチームを活気づける。一気に勝ち越したい東大は残り一分、山田がカウンターを出しハンツーで得点。さらに 3 対 2 のカウンターを池亀が決めて試合を決めた。

先制点をあげるも前半終了時点で同点にされるというやや苦しい展開。さらに後半に逆転されるも、池亀らの活躍によりなんとか逆転することができた。短い時間で逆転に成功した集中力が見てとれた試合だったのではないだろうか。監督を務めてくださった下東さん、ありがとうございました。

(文責 山田直人)

1 9 <水球陣>静岡県選手権第 3 戦

H26.11.2 対チーム安牌 @浜松市総合水泳場

安牌 1 2 計 3

東大 2 1 計 3

得点者：浪間(1)、梶原(1)、谷口(1)

前日は負けなしで終えることができた。今日の初戦はチーム安牌。手強い相手ではあるがリーグトップ通過には勝利が必要であり、チーム全員で勝利を目指す。

第 1 ペリオド

序盤から一進一退の攻防が続く中、先制したのはチーム安牌。東大はオフENSEイブやパスミスが多くリズムをつかめない。相手の攻めを耐える時間が続く。第一ペリオドで追いつきたい東大は残り一分、浪間が退水を誘発し、自ら得点する。さらに残り一秒、谷口がロングシュートを決めチームを沸かせた。

第 2 ペリオド

リードを守り切りたい東大は、全員が泳いで戻るディフェンスを徹底して相手に良い形を作させない。しかしオフENSEももうまく噛み合わず両者無得点のまま試合がすすむ。均衡を破ったのはチーム安牌。山田の退水から不運な形で失点し同点とされる。さらにディフェンスの甘さからミドルシュートで得点を許し試合を一気にひっくり返される。残り 1 分を切り、なんとか同点に持ち込みたいところで決めたのは梶原。池亀からのパスを確実に押し込んで土壇場で追いつく。結局試合は同点のまま終了した。

格上のチーム相手に一時はリードする展開だったがリードを広げることができず逆に一気に試合をひっくり返されてしまった。最終的に同点にすることはできたものの、勝利も見えていただけに手痛い引き分けとなった。監督を務めてくださった下東さん、ありがとうございました。

(文責 山田直人)

20<水球陣>静岡県選手権第4戦

H26.11.2 対京都大学 @浜松市総合水泳場

東大 3 2 計 5

京大 2 0 計 2

得点者：浪間(3)、梶原(1)、山田(1)

静岡県選手権第四戦の相手は京都大学。この大会の上位進出のためにはもちろん、七帝戦での王座奪還に向けても勝っておきたい。

第1ピリオド

前半、東大は浪間にボールを集めるが得点には至らず、逆に京大の素早いオフェンスを抑えることができず立て続けに2失点する。これ以上離されたくない場面で決めたのは主将・浪間。フローティングからの強烈なシュートでゴールネットを揺らす。さらに浪間は鮮やかなループシュートも決め同点とする。続いてピリオド終了間際には山田がループシュートを決めて逆転に成功。

第2ピリオド

先制して突き放したい東大。相手選手の5mシュートを押し込まれ同点とされそうになるがゴールジャッジの判定はノーゴール。すると両チームの選手がボールの行方を追う中抜け出した浪間がシュートを決め2点差とする。さらに梶原が3対2のカウンターを決めて3点差。一気に相手を突き放す。そのまま試合は終了し、東大が勝利した。

序盤は2点のリードを許したが焦らず浪間にボールを集めることで自分たちのペースをつかむことができた。この試合でリーグ二位通過が決まった。監督を務めてくださった下東さん、ありがとうございました。

(文責 山田直人)

2 1 <水球陣>静岡県選手権第 5 戦

H26.11.2 対 UNITED @浜松市総合水泳場

UNITED 0 3 0 計 3

東大 1 2 1 計 4

得点者：浪間(1)、山田(3)

静岡県選手権 B1 リーグ三位決定戦。ここ数年、この大会では苦戦を強いられていてだけにこの試合をものにして新チームの強さを見せつけたい。

第 1 ピリオド

先制点は東大。山田が二対一のカウンターを決めてチームを勢いに乗せる。その後も再三ゴールを狙うも得点には至らない。ディフェンスは全員が自陣まで戻り相手より人数をかけることでいい形で攻めさせない。結局このピリオドは両チームともに無得点で終わる。

第 2 ピリオド

はやめに突き放したい東大は浪間にボールを集め得点を狙う。浪間が誘発した退水のチャンスで梶原が放ったシュートは惜しくもキーパーに弾かれるが、直後に浪間がフローティングで得点し二点差にする。しかしその後は互いに点を取り合う展開となる。東大は小笠原が退水し失点して一点差。その後、山田がミドルシュートを決めて二点差に戻す。しかし再び UNITED が得点。一点差のまま試合を終わらせたい東大だったが終了間際にさらに失点して同点とされる。そのままピリオドが終了し、勝負はペナルティーシュート合戦に持ち越しとなった。

PS 合戦

会場内にシューターの紹介や実況がアナウンスされるなど、普段とは違った雰囲気の中 UNITED が先攻で PS 合戦が始まる。東大の守護神疋田は 5 ペセーブの達人との評判通り、相手選手のシュートを次々と止めていく。一方の東大の選手はゴールポストや枠外にシュートを外す。東大の 4 人目の山田が両チーム通じて初めて成功させると、UNITED の五人目の選手が放ったシュートがバーに当たり、東大に軍配があがった。

この試合でも先制したもののリードを守りきることができずに最後までもつれる展開となった。PS 合戦では両チームともにまったく決めることができない異様な展開となったが、キーパー疋田の再三の好セーブもあり、なんとか三位入賞を果たすことができた。大会を通じてご自分の試合の合間を縫って監督を務めてくださった下東さん、本当にありがとうございました。

(文責 山田直人)
